

ビスピリバックナトリウム塩液剤が乾田直播栽培イネの生育に及ぼす影響

福島県農業試験場相馬支場
平成15～17年度試験成績概要

- 1 部門名 水稲－水稲－雑草防除・水稲直播
分類コード01－01－20750000
- 2 担当者 佐々木園子・大谷裕行・島宗知行
- 3 要 旨

乾田直播栽培におけるビスピリバックナトリウム塩液剤の散布がイネの生育に影響する場合がみられるため、処理時期を変えて(イネの葉齢:2.0、3.0、4.0L)影響の程度を検討した。

(1) ビスピリバックナトリウム塩液剤の散布1週間後頃から葉身の黄化がみられたが、1ヶ月程度で回復した。

(2) ビスピリバックナトリウム塩液剤各処理区は、散布後に生育抑制がみられたが、1ヵ月～1ヶ月半程度で対照区並に回復した。

(3) 出穂期、成熟期の生育は、ビスピリバックナトリウム塩液剤各処理区と、対照区間に明確な差がみられなかった。

(4) 収量および収量構成要素、玄米品質、粒厚分布は、ビスピリバックナトリウム塩液剤各処理区と、対照区間に明確な差がみられなかった。

(5) 以上のことから、乾田直播栽培において、ビスピリバックナトリウム塩液剤のイネ2～4葉期処理により、葉身の黄化や生育抑制等の薬害がみられることがあるが、処理後1ヶ月～1ヶ月半程度で回復し、出穂期、成熟期、収量、品質に与える影響も小さく、実用上の問題はないと考えられる。

- 4 その他の資料など